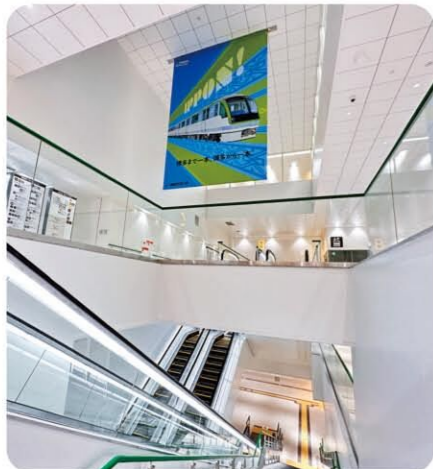


博多駅

七隈線が博多駅までつながることにより、七隈線各駅から博多駅までの移動時間が約14分短縮します。また、博多駅から約3分で天神南駅に行くことができるようになり、都心部の移動がさらに便利になります。

ダイナミックな吹き抜け空間

これまでの駅にはない開放的な吹き抜け空間があります。



七隈線から空港線へののりかえ

のりかえ通路には「動く歩道」があり、快適にのりかえいただけます。



動く歩道



のりかえ案内サイン



博多駅のりかえイメージ



七隈線と空港線は改札を過ぎずに約3分でのりかえ出来ます。
(乗換距離：七隈線ホーム～空港線ホーム約150m)

櫛田神社前駅

祭り・伝統文化

迫力ある博多祇園山笠の世界観を表現した壁面装飾のほか、福岡にゆかりのある伝統工芸品約80点を展示しています。



木のぬくもり・和の雰囲気

駅名の由来である櫛田神社をはじめとした歴史ある街の雰囲気や、木のぬくもりを感じさせる駅の内装です。



新車両3000A系

立ち座りしやすいシートの導入や優先スペースの増設など、ユニバーサルデザインにより配慮した設計となっています。

また、福岡市地下鉄では初の車内防犯カメラを設置し、更なるセキュリティ向上を図っています。



地下鉄七隈線延伸開業

令和5年3月27日（天神南駅～博多駅）



博多まで一本。博多から一本。



福岡博多連理 ～「福岡」と「博多」が繋がり、ともに発展する未来へ向けて～

七隈線は西南部地域の慢性的な交通渋滞を緩和し、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立を図るとともに、均衡あるまちづくりを推進するために計画されました。

平成17年2月3日に橋本～天神南間を開業した後、残る都心部区間について調査・検討を行い、平成24年度から天神南～博多ルートの整備に取り組んできました。

七隈線が博多駅まで繋がることで鉄道ネットワークがさらに強化され、都心部へのアクセスが向上するとともに、マイカー利用から地下鉄利用への移行により渋滞緩和やカーボンニュートラルの実現にもつながることが見込まれます。また、新駅によって新たな人の流れも生まれ、沿線部の活性化や地域経済への好影響という相乗効果も期待されています。

高島宗一郎福岡市長筆 銘板



七隈線天神南・博多間の延伸開業によって、「福岡」と「博多」の結びつきがさらに強まり、二つの街が共に発展していくことを願い、「福博連理※」の文字が七隈線博多駅ホームの銘板に刻まれています。
※連理とは二本の木の枝がつながり一本の木のようになることで、古くから縁起の良い言葉とされています。

福岡市地下鉄路線図

福岡市地下鉄は全国の地下鉄で初めて「駅シンボルマーク」を制定しました。



七隈線延伸事業概要

延伸区間	天神南～博多	あゆみ	平成17年 2月3日 七隈線(橋本～天神南)開業 平成24年 4月9日 国土交通大臣に鉄道事業許可を申請(同年6月11日許可)(七隈線 天神南～博多間)
建設キロ	約1.4km(営業キロ1.6km)		平成25年 12月4日 工事契約・着工 平成26年 2月12日 起工式
利用人数	延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後) うち、新規利用者数※約2.3万人/日		平成28年 11月8日 七隈線博多駅(仮称)工区における道路陥没事故発生 令和3年 7月1日 駅名(柳田神社前・博多)発表 令和5年 3月27日 開業(天神南～博多)

※マイカーなどの利用から新たに地下鉄利用に移行する人数

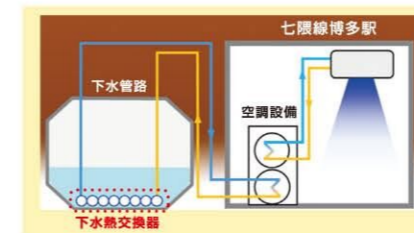
カーボンニュートラルの実現に向けて

「カーボンニュートラル(脱炭素)」とは、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることです。福岡市は、世界や日本が目指すカーボンニュートラルの実現に積極的に貢献するため、「2040年度 温室効果ガス排出量 実質ゼロ」へのチャレンジを掲げて、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めています。

地下鉄においても、再生可能エネルギー、省エネルギーなど、さまざまな環境技術を導入することで、温室効果ガス排出量削減に取り組んでおり、新駅には最新の技術を採用しています。

下水熱の活用 博多駅

下水管路内に下水熱交換器を設置し、駅の空調に下水熱を活用します。九州では初、鉄道事業者では全国初の取組みです。



下水熱の空調活用イメージ



下水熱交換器

地中熱の活用 柳田神社前駅

駅の下全面に地中熱交換器を設置し、駅の空調に地中熱を活用します。地下鉄駅では全国初の取組みです。



地中熱の空調活用イメージ



地中熱交換器

調光システムを採用した きめ細かい照度調整

灯具の明るさを調整できる調光システムを採用し、朝ラッシュ時は明るく、昼間は照度を抑えるなど、時間帯に連動した照度調整を行います。



ユニバーサル都市・福岡を象徴する様々な取組み

福岡市は、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向けて、様々な取組みを推進しています。

地下鉄においても、すべてのお客様に快適かつスムーズにご利用いただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮した設備などを積極的に取り入れています。

タッチレス自動運転エレベーター

ボタン操作を行うことなくエレベーターを呼び出し、目的階へ移動できる自動制御システムのエレベーターを設置しています。



ホームドアの3Dセンサー

電車とホームドアの間にある物などを、3次元のセンサーで立体的に検知する装置を設置しています。

